

## エイズ対策強化 フェーズ II (Strengthening of People Empowerment Against HIV/AIDS in Kenya (SPEAK) Phase II)

- 種別：技術協力プロジェクト
- 案件名：エイズ対策強化プロジェクトフェーズ II
- 実施地域：ナイロビ
- 協力期間：2010年1月～2014年1月
- 実施機関：公衆衛生省国家エイズ・性感染症対策プログラム (NASCOP)

ケニア国政府は、「国家エイズ対策戦略計画（2009/10-2012/2013）」（Kenya National HIV/AIDS Strategic Plan : KNASP III）に基づき、エイズ対策を進めています。その中で「ケニア国民80パーセントが自らのHIVステータスを正しく知ること」が目標の1つとなっています。国民が自らのステータスを知るためには、従来の自発的HIV検査とカウンセリング（VCT ; Voluntary Counseling and Testing）に加え、HIV検査とカウンセリング（HTC : HIV Testing and Counseling）が進められてきています。しかしながら、2007年に行われた調査では、HIV感染が判明した人の83パーセントは過去にHIV検査を受検したことがない、あるいは検査経験があってもHIVステータスを正しく理解していないことが指摘されました。このような状況から、HTCサービスの量的拡大と並行し、検査が正しく実施され、その結果が正確に本人に伝えられるとともに、必要なケアとサポートが提供される必要があると考えられています。

本案件は、この国家目標達成のために、ケニア政府が良質なHTCサービスを拡充するために必要な運営管理能力を強化することを目標として、4年間の協力期間で行われています。具体的には良質なHTCサービスの質を担保するための制度構築、各種基準や手順、ツールの開発と普及に加え、実証サイトを通じたデモンストレーション、制度や基準の向上に資する提言を行っています。



チームビルディング研修



ビジネスリトリートにてNASCOP関係者一同